

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 12月 13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473200388		
法人名	医療法人社団たくみ会きむらクリニック		
事業所名	安芸ひまわり		
所在地	広島県安芸郡海田町日の出町2-9 (電話) 082-821-2525		
自己評価作成日	令和3年11月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473200388-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473200388-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年12月1日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

クリニックが経営しているので、医療、薬剤的にバックアップ体制が整っている。
---------------------------------------

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

近隣にあるクリニックが法人の母体であり、協力医として毎週の往診が行われ、医師、病院看護師とも随時の連携がとれることで利用者の細かな様子を的確に把握しながら健康管理が行えている。関連薬局より薬の整理や随時の相談が行える他、歯科の訪問診療にて毎日の口腔ケアの管理も向上するなど、医療体制を充実させている。日々の活動においても「地域との共生」を理念に掲げ、地域に貢献できる取り組みを意識している。事業所が所在する町や地域の豊かな社会資源を活かした活動を通じて、地域との様々な交流やふれあいを持ち社会性のある暮らしを実現している。利用者一人ひとりの尊厳を順守しその方に合わせた支援を行うことで、自己決定を促し利用者の主体性を引き出した支援を実践している。
---

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域の人たちとの交流を通して、地域の一員として暮していけるように、支えていくことを、ミーティングや掲示により確認して、実践している。	地域との共生を念頭に、社会資源豊かな環境で地域とのふれあいや交流を通し貢献していくことに日々尽力している。理念は事務所に掲示し、3ヶ月毎のミーティングや施設長が日頃より伝え確認している。職員から子ども食堂の提案があるなど、「地域と共に」をそれぞれに意識し支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の人たちとの挨拶、お話、声掛けをしたり、行事などで交流している。今年は新型コロナ感染症により、人との接触が制限されたので交流が少ない。	敷地駐車場を小学生の登校待合場所に提供し、小学生や保護者との挨拶やふれあいが毎朝の恒例として継続している。地域活動も自粛にて難しい状況下に、以前は小学校の運動会に呼ばれたり、地区会長より神輿を担ぐ促しがあり参加したことや中学校の職場体験受け入れなど行っていた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で出席メンバーである入居者のご家族、地域住民、民生委員に認知症のことを説明し、理解をしてもらっている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議では事業所での近況を報告し、悩み事を相談したり、出席者との意見交換し、アドバイスを頂いたりして、そのことをミーティングで検討し、実践、対応している。今年はコロナ禍により会議ができていない。	感染症対策のため中止が継続される状況であり書面にて報告を行っている。会議では事業所の報告を行い、活動や日々の実践に理解や周知を得ており、地域代表からも独居の高齢者の相談があり入所に至った例や、地域の困っている話や認知症への相談など、意見交換がなされている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	管理者が町に連絡したり、訪問したり、町の担当者が運営推進会議の出席により、意見交換をして情報交換をしている。	普段より必要に応じて町との連絡を取っている。運営推進会議で町の担当者との意見交換を行い、ワクチンの案内など事務連絡を適宜受け共有している。	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束適正化の委員会の会議をしたり、研修の機会を設けて、身体拘束のことを理解している。そのことをミーティングで確認をしている。	他の利用者への危険にて緊急やむを得ない形で身体拘束を実施した例があるが、すぐに外せる形で対処が行われた。日々の支援において気付いたら職員同士話をして適宜対応を行い、利用者の行動に本人より話を聞くなど、思いや動機を理解することで未然に防げるよう努めている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待の研修を設けたり、ミーティングや資料の回覧の機会を理解を得て防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する研修を設けたり、ミーティングで学ぶ機会を持っている。オンラインでの研修を行う。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結は、重要事項説明書を説明をして、ご家族が理解し納得して、サインをしてもらっている。料金が改正した場合は、その都度説明をしている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	随時、担当の職員や管理者が話し合いの機会を設け、対応している。運営推進会議のメンバーにも会議での話し合いの場を設け、意見交換をしている。	家族には面会時など来所時に思いや意見を聞くことや、運営推進会議において家族代表からも意見交換を行い確認している。本人が好きだったことができることの要望に将棋やカラオケが行えるように整えた。利用者へも日々の関わりから意向を把握しており、できる限り反映している。	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者は事業所へ週一回訪問をして、現場の意見を聞いている。管理者は随時話し合いの機会を設けたり、ミーティングで意見交換をしている。</p>	<p>毎週必ず代表者の訪問があり、職員との会話などコミュニケーションを図り、現場の意向に耳を傾けている。施設長とも常時話が行え、購入物品の相談や有休の希望など気軽に様々な相談が行え、意見や思いを気兼ねなく表現できる体制を構築している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各職員の実績、勤務状況に応じて、業務の担当者、リーダー、管理者になり責任を持たせ、給与に反映している。あわせて、職場が働きやすい環境づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>機会をみて外部の研修会に参加させたり、講師を事業所に招いて研修会を開いたり、ミーティングのなかでの研修をしている。オンラインでの研修を行う。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の居宅介護支援事業所や地域密着の特養、日本認知症グループホーム協会との交流があり、情報交換をしている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人やご家族から意見を聴いたり、問い掛けをしたりして、理解、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族から意見を聴いたり、問い掛けをしたりして、理解、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人とご家族から状況、要望を聴いたり、問い掛けたりして、現在必要としているサービスを検討し、対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は本人と一方的な関係性にならないように、お互いが理解し、支えいき、信頼関係を築いていけるように努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員とご家族がお互いに相談しあえる関係を築いていながら、共に支えていくように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>機会をみて、馴染みの人に連絡し面会に来てもらったり、馴染みの店に行ったり、親戚関係に来てもらったりしている。コロナ禍で機会が少なくなっている。</p>	<p>個人の馴染みをそれぞれに把握し思いを形にできるよう尽力している。通っていた美容院に来所してもらったり、お墓参りに行くことや実家がどうなっているか気になることで家を見に行ったり、遠くの親戚に会いに行くことや手紙のやり取りの支援などを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	さまざまな趣味や習い事、行事を通じて交流し、利用者同士の関係を築いて支えあっているよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じて、本人やご家族とは連絡を取り合ったり、相談したり、面会をしている。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向にできるだけ沿うように心掛けて対応している。ご家族にも相談しながら協力してもらっている。	利用開始時に生活背景の聞き取りを行い、利用者像や特徴をしっかりと把握した上で日々の関わりから思いや意向を確認している。家族へ相談し情報を得ることや食事の時間も思いを聴ける機会として活用している。小さなことでも申し送りやミーティングで共有し全員で周知している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今まで暮らしてきた環境、利用したサービスを考慮しながら、本人にあった環境づくりを整えるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人の状況をみながら、本人の出来るところ、支えていくところを判断しながら対応している。		

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人とご家族の意見を取り入れ、担当者、管理者、介護支援専門員と相談し、ミーティングで検討し、現状を踏まえ介護計画に反映している。時には、主治医、薬剤師にも相談している。</p>	<p>本人や家族の意向を事前に確認し、担当職員や管理者、計画作成者で原案を立案しミーティングで検討し作成している。3ヶ月毎にモニタリングで評価し、見直しを適宜次回の計画に反映させている。主治医や協力病院看護師、薬剤師とも適宜相談しチームで作る実践となっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子は些細なことでも気づいたことは本人の記録に記入しており、職員間で共有して介護計画に反映している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>今までの本人やご家族の環境、現在の状況を踏まえて、ミーティングで検討して、さまざまなサービスを選択して支援を進めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の意向に応じて、地域の方々やお店、民生委員、ボランティアの協力をえながら支援をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人やご家族の要望を取り入れ、かかりつけ医、主治医と事業所との信頼関係を築きながら、治療を受けている。必要があれば、他の医療機関の治療を受けていただくこともあります。</p>	<p>希望により以前のかかりつけ医を選択することも可能である。協力医は母体である近隣に位置する病院であり、往診や看護師の訪問が毎週行われ、関連薬局より毎週薬の整理が行われている。歯科往診など適宜連携が図れ医療サポート体制を充実させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>職員はいつでも看護師との相談ができ、必要があれば、いつでも受診や訪問看護を受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>地域の医療機関にはいつでも相談しあえる体制があり、情報交換をできるようにしている。地域の医師会にも協力をえている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人やご家族の意向に沿うように、主治医、薬剤師と相談しながら、職員同士で情報を共有して重度化や終末期の支援に取り組んでいる。過去に何度か看取りに対応している。</p>	<p>ほとんどの家族が看取りを希望され、昨年も5件の看取りを行った。利用開始時に希望を確認し書類に同意をもらい、状況を迎えた時に意向を確認しながら最後までみるという強い意志を持ち実践に努めている。主治医や看護師と随時連携し、分からないことがあれば都度指導を受け行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>ミーティングで各利用者の情報を共有して、緊急時の対応マニュアルを作成して取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>火災や浸水の避難訓練を実施したり、消防職員に指導をしてもらったり、運営推進会議で地域の方々に協力をお願いしている。地域の方々には避難訓練に参加してもらっている。</p>	<p>年2回訓練を実施し毎回消防署の指導のもと行っている。その内1回は町から土砂災害や浸水に備えた訓練を行う促しを受け定期的に行っている。地域住民にも避難訓練に参加してもらい、運営推進会議では地域から事業所を避難場所としたい希望があり受けるなど、地域と共に実践している。</p>	



自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	今までの環境、現在の状況を考慮し、一人ひとりに合う対応に心がけ、失礼のない目上に対する丁寧な言葉で声掛けをして、プライバシーの確保に努めている。	人権擁護など毎年研修を行っている。普段より利用者個々に合わせた対応を意識し、個人の思いを尊重し自己決定ができるように働きかけを促すよう取り組んでいる。言葉遣いも職員同士でお互いにアドバイスが行える体制があり、個人を尊重した丁寧な対応がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向に沿うように、声掛けや誘導を促したり、気づきに注意して、自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの日々の状況を把握して、気づきに注意して、本人の希望やペースにあうように、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	職員ができることは対応して、美容院の方が訪問して散髪してもらい、身だしなみの相談も受けてもらっている。時には、美容室にも行ってもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご家族に好みなどを相談しながら、できる限り一人ひとりに合うように工夫して調理をしている。職員と一緒に準備や片付けをしている利用者の方もいる。	昼食は配食弁当を注文するが品数も多くあり、朝夕は手作りにて提供し利用者の意向を随時反映しながら行っている。ホットケーキ作りやお好み焼きをしたりと月に1、2回イベントの様な機会を作っている。誕生日は食べたい物が食べれるようになど食を楽しめる支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの毎食の量、水分が記録しており、それらの状況を把握して対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとりの歯磨きをしており、定期的に歯科医に訪問してもらい、口腔ケアを指導してもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日々の状況、排泄記録をみて、定期的に声掛けをし、トイレ誘導をして、排泄をしてもらい、失敗やおむつの使用を減らすように支援している。</p>	<p>トイレに座って排泄することを基本とし、ポータブルトイレも衛生上や転倒などリスクに繋がることを考慮し意図的に使用しない方針を掲げ取り組みに努めている。排泄記録表を基に個別の排泄状況に合わせ定期的に個々の誘導を行い、夜間でもオムツを外せるようになった事例がある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの状況をみながら、食事の改善や運動の取り入れをしている。場合によっては、主治医や薬剤師に相談しながら対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一応の入浴日を決めているが、一人ひとりの状況、体調をみて、要望があればいつでも入浴、シャワーをして対応している。排泄の失敗時には、随時、シャワー対応している。</p>	<p>週に2、3回午後からの入浴としているが、希望があれば午前などいつでも入れるように柔軟に対応している。バスクリンを入れたり柚子湯や菖蒲湯など時期により季節を感じられる入浴の取り組みを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一応の休息の昼寝の時間を設けているが、一人ひとりの状況をみながら、いつでも休んでもらえるように対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>一人ひとりの薬についての資料が薬局から届いており、それらを理解して、服薬をしている。何かあればいつでも薬剤師に相談できるようにしている。週一回、薬剤師に来てもらっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>今までの暮らしの環境を考慮して、役割を担当してもらったり、習い事や趣味を楽しんでもらったり、時には外出して買い物をしてもらっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>一人ひとりの意向に沿って、散歩や買い物をしたりしている。場合によっては、ご家族、ボランティアに協力してもらいながら対応している。コロナ禍により機会が少なくなっている。</p>	<p>コロナ禍で外出が難しい状況であるが、毎年近隣の総合公園に弁当を持参し出かけることが楽しみとして定着している。近くのスーパーへの買い物や、花見や紅葉狩りなど行事も交え気軽な戸外への支援を行っている。4階屋上では花を植え、日常的に外気に触れながら生活が行えている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本的には本人のお金の管理はしていないが、本人の希望があれば、ご家族に相談して可能であれば、職員と一緒にコンビニやスーパーで買い物をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の希望があれば、ご家族と相談して、いつでも電話をしたり、手紙のやり取りができるように対応している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには季節、行事ごとに模様替えをしたり、入居者の作った作品を飾ったり、写真をはったり、花やみどりを取り入れたりして、過ごしやすい環境を作れるように心掛けている。	玄関には作品や季節毎にクリスマスツリーや門松などを飾り季節感が感じられる。リビングにおいても作品や写真が飾られ季節ごとの花を生けている。奥行きのある造りにて、ソファや椅子を適所に配置し、いつでも休めるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	各部屋、リビング、多目的ホール、応接室、屋上など、いつでも自由に使って過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人やご家族の意向に沿って、馴染みの家具や備品、写真などをもってきてもらったり、何でも置いたり、飾ったりして過ごしやすようにしている。	ベッドやエアコン、カーテンが備え付けである。テレビや馴染みの家具、仏壇、孫など家族の写真など、利用者それぞれに思い入れのある大切な物の持参がなされている。家族から自宅の環境など話を聞き本人が居心地良く過ごせる居室の環境整備に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーに対応しており、廊下やトイレには手すりがあり、車いすや歩行器、歩行練習をする機器があり、いつでも自由に使えるようにしている。		

V アウトカム項目( 1 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域の人たちとの交流を通して、地域の一員として暮していけるように、支えていくことを、ミーティングや掲示により確認して、実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の人たちとの挨拶、お話、声掛けをしたり、行事などで交流している。今年には新型コロナ感染症により、人との接触が制限されたので交流が少ない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で出席メンバーである入居者のご家族、地域住民、民生委員に認知症のことを説明し、理解をもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議では事業所での近況を報告し、悩み事を相談したり、出席者との意見交換し、アドバイスを頂いたりして、そのことをミーティングで検討し、実践、対応している。今年にはコロナ禍により会議ができていない。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	管理者が町に連絡したり、訪問したり、町の担当者が運営推進会議の出席により、意見交換をして情報交換をしている。		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束適正化の委員会の会議をしたり、研修の機会を設けて、身体拘束のことを理解している。そのことをミーティングで確認をしている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待の研修を設けたり、ミーティングや資料の回覧の機会理解を得て防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する研修を設けたり、ミーティングで学ぶ機会を持っている。オンラインでの研修を行う。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の凍結は、重要事項説明書を説明をして、ご家族が理解し納得して、サインをしてもらっている。料金が改正した場合は、その都度説明をしている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	随時、担当の職員や管理者が話し合いの機会を設け、対応している。運営推進会議のメンバーにも会議での話し合いの場を設け、意見交換をしている。		



自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者は事業所へ週一回訪問をして、現場の意見を聞いている。管理者は随時話し合いの機会を設けたり、ミーティングで意見交換をしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各職員の実績、勤務状況に応じて、業務の担当者、リーダー、管理者になり責任を持たせ、給与に反映している。あわせて、職場が働きやすい環境づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>機会をみて外部の研修会に参加させて、講師を事業所に招いて研修会を開いたり、ミーティングのなかでの研修をしている。オンラインでの研修を行う。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の居宅介護支援事業所や地域密着の特養、日本認知症グループホーム協会との交流があり、情報交換をしている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人やご家族から意見を聴いたり、問い掛けをしたりして、理解、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族から意見を聴いたり、問い掛けをしたりして、理解、納得できるように説明をしながら関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人とご家族から状況、要望を聴いたり、問い掛けたりして、現在必要としているサービスを検討し、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員は本人と一方的な関係性にならないように、お互いが理解し、支えていき、信頼関係を築いていけるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員とご家族がお互いに相談しあえる関係を築いていながら、共に支えていくように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	機会をみて、馴染みの人に連絡し面会に来てもらったり、馴染みの店に行ったり、親戚関係に来てもらったりしている。コロナ禍で機会が少なくなっている。		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>さまざまな趣味や習い事、行事を通じて交流し、利用者同士の関係を築いて支えあっているよう努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>必要に応じて、本人やご家族とは連絡を取り合ったり、相談したり、面会をしている。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の意向にできるだけ沿うように心掛けて対応している。ご家族にも相談しながら協力してもらっている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>今まで暮らしてきた環境、利用したサービスを考慮しながら、本人にあった環境づくりを整えるようにしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>本人の状況をみながら、本人の出来るところ、支えていくところを判断しながら対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人とご家族の意見を取り入れ、担当者、管理者、介護支援専門員と相談し、ミーティングで検討し、現状を踏まえ介護計画に反映している。時には、主治医、薬剤師にも相談している。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は些細なことでも気づいたことは本人の記録に記入しており、職員間で共有して介護計画に反映している。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	今までの本人やご家族の環境、現在の状況を踏まえて、ミーティングで検討して、さまざまなサービスを選択して支援を進めている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	本人の意向に応じて、地域の方々やお店、民生委員、ボランティアの協力をえながら支援をしている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人やご家族の要望を取り入れ、かかりつけ医、主治医と事業所との信頼関係を築きながら、治療を受けている。必要があれば、他の医療機関の治療を受けていただくこともあります。		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はいつでも看護師との相談ができ、必要があれば、いつでも受診や訪問看護を受けられるようにしている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域の医療機関にはいつでも相談しあえる体制があり、情報交換をできるようにしている。地域の医師会にも協力をえている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人やご家族の意向に沿うように、主治医、薬剤師と相談しながら、職員同士で情報を共有して重度化や終末期の支援に取り組んでいる。過去に何度か看取りに対応している。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ミーティングで各利用者の情報を共有して、緊急時の対応マニュアルを作成して取り組んでいる。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災や浸水の避難訓練を実施したり、消防職員に指導をしてもらったり、運営推進会議で地域の方々に協力をお願いしている。地域の方々には避難訓練に参加してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	今までの環境、現在の状況を考慮し、一人ひとりに合う対応に心がけ、失礼のない目上に対する丁寧な言葉で声掛けをして、プライバシーの確保に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向に沿うように、声掛けや誘導を促したり、気づきに注意して、自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの日々の状況を把握して、気づきに注意して、本人の希望やペースにあうように、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	職員ができることは対応して、美容院の方が訪問して散髪をしてもらい、身だしなみの相談も受けてもらっている。時には、美容室にも行ってもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご家族に好みなどを相談しながら、できる限り一人ひとりに合うように工夫して調理をしている。職員と一緒に準備や片付けをしている利用者の方もいる。		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの毎食の量、水分が記録しており、それらの状況を把握して対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとりの歯磨きをしており、定期的に歯科医に訪問してもらい、口腔ケアを指導してもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日々の状況、排泄記録をみて、定期的に声掛けをし、トイレ誘導をして、排泄をしてもらい、失敗やおむつの使用を減らすように支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの状況をみながら、食事の改善や運動の取り入れをしている。場合によっては、主治医や薬剤師に相談しながら対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一応の入浴日を決めているが、一人ひとりの状況、体調をみて、要望があればいつでも入浴、シャワーをして対応している。排泄の失敗時には、随時、シャワー対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一応の休息の昼寝の時間を設けているが、一人ひとりの状況をみながら、いつでも休んでもらえるように対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>一人ひとりの薬についての資料が薬局から届いており、それらを理解して、服薬をしている。何かあればいつでも薬剤師に相談できるようにしている。週一回、薬剤師に来てもらっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>今までの暮らしの環境を考慮して、役割を担当してもらったり、習い事や趣味を楽しんでもらったり、時には外出して買い物をしてもらっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>一人ひとりの意向に沿って、散歩や買い物をしたりしている。場合によっては、ご家族、ボランティアに協力してもらいながら対応している。コロナ禍により機会が少なくなっている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本的には本人のお金の管理はしていないが、本人の希望があれば、ご家族に相談して可能であれば、職員と一緒にコンビニやスーパーで買い物をしている。</p>		



自己評価	外部評価	項目( 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の希望があれば、ご家族と相談して、いつでも電話をしたり、手紙のやり取りができるように対応している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには季節、行事ごとに模様替えをしたり、入居者の作った作品を飾ったり、写真をはったり、花やみどりを取り入れたりして、過ごしやすい環境を作れるように心掛けている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	各部屋、リビング、多目的ホール、応接室、屋上など、いつでも自由に使って過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人やご家族の意向に沿って、馴染みの家具や備品、写真などをもってきてもらったり、何でも置いたり、飾ったりして過ごしやすいようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーに対応しており、廊下やトイレには手すりがあり、車いすや歩行器、歩行練習をする機器があり、いつでも自由に使えるようにしている。		

V アウトカム項目( 2 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム安芸ひまわり

作成日 令和2年5月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の出席者が変わらないので、同じような内容になる。	運営推進会議を活性化させる。	運営推進会議の出席者を少しずつ変えていき、意見、内容を変化させる。	三ヶ月以内
2	6	身体拘束適正化の委員会の内容が同じようになる。	身体拘束適正化の委員会を活性化させる。	身体拘束適正化の委員会の出席者を少しずつ変えていき、意見、内容を変化させる。	三ヶ月以内
3	49	入居者、職員の状況があるが、外出の機会が少ない。	出来るだけ外出の機会を設ける。	職員以外の家族やボランティアなどの外部の人材を活用して外出の機会を設ける。	三ヶ月以内
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。